

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|---|--|--|---|--|--|
| 事業の目的 | | 就学前の子どもに関する教育・保育の総合的な提供に関する法律に基づいて、心身ともに健やかに育成されるよう幼児期の教育・保育を行うほか、4歳以上の子どもに対し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に掲げる目標に向かい、教育を行うことを目的とする。 | | | | | | | | | |
| 教育及び保育方針 | | 教育及び保育目標 ○総合目標 「仲間とともに 主体的に生活する 心豊かでたくましい子」 ○具体目標 ・元気な子 ・思いやりのある子 ・よく考える子 | | 園児像 ○明るく元気に遊ぶ子 ○健康で安全な生活をする子 ○基本的な生活習慣が身に付き安全に行動できる子 ○友達に思いを気づける子 ○友達と協力して遊べる子 ○動植物などの命を大切にできる子 ○工夫して遊べる子 ○自分で考えて行動できる子 ○粘り強く取り組む子 | | こども園像 ・明るくあたたかさがあふれる花や緑あふれるこども園 ・創意工夫あふれるこども園 ・保護者や地域から親しまれるこども園 | | | | | |
| 教育及び保育時間 | | ●1号認定 :教育時間→8:15～14:00 *一時預り14:00～18:30 ●2号認定(標準時間児):教育及び保育時間→7:30～18:30 *延長保育時間→18:30～19:30 ●2号認定(短時間児):教育及び保育時間→7:30～16:00 *延長保育時間→16:00～19:30 | | 主な行事 ・入園、進級式・卒の遠足・誕生会・身体測定・健康診断・交通安全指導・保育参観・個人面談 ・七夕集会・1学期終業式・2学期始業式・運動会・秋の遠足・生活発表会・城南っこまつり ・お楽しみ会・新分・おおいで遠足・ひなまつり会・修了式・卒園式 | | | | | | | |
| 子どもの教育・保育目標(学年の重点) | | 育みたい資質・能力 | | 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿 | | 小学校との連携 | | 家庭との連携 | | | |
| 4歳児:友達同士の触れ合いを楽しみながら、いろいろな活動に興味を持ち、意欲的に進んだり、取り組んだりする。 5歳児:遊びを通して友達とのつながりを深め、色々な活動に意欲的に取り組み、自信をもって活動する。 | | *教育及び保育の基本を踏まえ、要領第2章のねらい・内容に基づく活動全体を通して一体的に育むもの ○知識・技能の基礎 ○思考力・判断力・表現力等の基礎 ○学びに向かう力、人間性の基礎 | | *5領域のねらい・内容に基づいて、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼児教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿 ○健康な心と体 ○自立心 ○協同性 ○道徳性・規範意識の芽生え ○社会生活との関わり ○思考力の芽生え ○自然とのかかわり・生命尊重 ○数量や図形、構構や文字などへの関心・感覚 ○言葉による伝え合い ○豊かな感性と表現 | | ○保幼小連携年間計画 ○アプローチャリキュラム(縦横欄のカリキュラム) ○3役員(小学校長、小学校教頭・教務主任、小学校事務・園長・こども園教頭) ○小学校教育委員会への参加、連絡 ○保育教諭と小学校教諭の交流(合同研修・保育参観・授業参観) ○園児と児童の交流(5年生との朝の活動時の交流) ○保幼小連携会(年3回程度) ○学校関係者評価委員会の合同開催 ○学校行事の連携(小学校図書館利用(月1回)運動会・新1年生お招き回、各種避難訓練) | | ○家庭との連携年間計画 ○学力向上推進にかかる生活リズムアンケートとその考察提供 ○持ち物チェックリストや生活リズム表による家庭との連携 ○絵本の読み聞かせ ○家庭状況把握(児童票、個人面談、送迎時) ○情報提供(重要事項説明書、入園のしおり、HP等) ○保育説明(園だより、クラスだより、おたより等) ○情報共有(保育参観、保育参加、個人面談) | | | |
| 健康支援 | | 環境、衛生、安全管理 | | 災害への備え | | 食育 | | 子育ての支援 | | | |
| ○保健計画(年間計画、いのちの安全教育・熱中症予防) ○基本的な生活習慣指導計画 ○健康状態や発育及び発達の状態の把握 ○学校医による定期的な健康診断(内科・歯科) ○諸検査(尿・便・よ虫) ○健康観察(園児の心身の状態把握・異常が認められた時の適切な対応) ○個別的な配慮を要する園児への対応 | | ○施設内外の設備、用具等の衛生管理(清掃及び消毒)(採光・照明等) ○施設内外の設備、用具等の安全管理(安全点検表) ○園児及び職員の手洗指導・消毒作業) ○学校安全計画 ○感染症の集団発生予防 ○交通安全指導計画 ○危機等発生時対応要領 | | ○防災計画 ○土砂災害避難確保計画 ○避難訓練の実施(毎月) ○土砂災害避難訓練 ○那覇市防災伝達訓練(年1回) ○非常食・水(備蓄)の備え ○危機管理マニュアル | | ○食育年間指導計画 ○給食指導計画 ○給食会議(毎月) ○体験活動(菜園づくりの実施) ○一人一人の対応(食物アレルギー等) ○給食当番活動 ※R2、R3、R4はコロナ禍で実施できず ○毎日の給食献立の表示 | | ○在園児子育て支援計画 ・幼児理解に必要な情報の配布や掲示 ・教育相談(個人面談、送迎時) ・地域子育て支援の連携 ・子育て応援DAY (未就園児親子への活動開放・子育て相談) ・幼児理解に必要な情報の配布や掲示 ・保護者との連携協力 | | | |
| 養護 (保育教諭が行う事項) | 年齢 | 4歳児 | | 5歳児 | | 特色ある教育と保育 | | 特別支援教育 | | | |
| | 生命の保持 | ○運動と休息のバランスと調和を図る。 | | ○健康・安全への意識の向上 | | ○地域や幼児の実態に基づく教育・保育活動 ○幼児の主体的な活動を促す環境構成 ○こども園と小学校の連携 ○地域の特質に特化した防災教育 | | ○特別支援教育方針 ○園内の支援体制(園内支援委員会計画) ○関係支援機関との連携(関係者支援会議、巡回相談、就学支援委員会等) | | | |
| | 情緒の安定 | ○園児一人一人の気持ちの受容、共感、継続的な信頼関係の構築 | | ○周囲から主体して受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする | | | | 地域との連携 ○地域・家庭との連携計画 ○まちづくり協議会(首里三が城南校区)への参加 ○地域人材の活用 ○こども園と近隣保育園との連携 | | | |
| ねらい及び内容 | | | | | | | | | | | |
| 教育及び保育 (園児が環境に関わって行う事項) | 領域 | 教育及び保育(教育課程に係る教育時間含む) | | | | 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 | | | | 学校評価(自己評価・保護者アンケート・関係者評価等) | |
| | 健康 | ○戸外遊びや運動遊びに興味をもち、友達と体を動かして遊ぶことの楽しさを味わう。 ○健康な生活のリズムを身に付け、自分たちで生活を進める楽しさを知る。 | | ○いろいろな運動遊びに取り組み、体を十分動かして遊ぶ。 ○見通しをもって自分たちの生活をつくっていくこととする。 | | ① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する。 | | | | ○那覇市職員人事育成方針に基づく人事評価 ○学校評価年間計画 ○学校関係者評価委員会 ○自己評価シート ○保護者アンケート ○学校評価の公表 ○全体的計画の反省による計画見直し・改善、教育課程への反映 | |
| | 人間関係 | ○友達と一緒に遊びや仕事を楽しみながらしようとする気持ちをもつ。 ○友達と楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき守ろうとする。 | | ○共通の目的に向かって、自分の力を発揮しようとしたり、みんなで力を合わせてやり遂げた満足感を味わう。 | | ① 幼保連携型認定こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感を持つ。 ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。 | | | | 職員の資質向上(研修計画) 学力向上推進計画 ○園内研修計画 ・幼児教育の理解発展推進事業 ・独自の研修 ○園外研修への積極的な参加計画 ○学力向上推進計画 ・ふくぎんふな～プラン具体的な取り組み ・基本的な生活習慣調査 | |
| | 環境 | ○自然の美しさにふれて感動したり、自然物を使って遊ぶことを楽しんだりする。 ○遊びの中で、数量や図形や文字に関心をもち、 | | ○自然の美しさ、不思議さに気づき友達と伝え合ったり、調べたり、遊びに取り入れたいりする。 ○文字や数字を使って伝える楽しさを味わう。 | | ① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ② 身近な環境に自分からかかわり発見を楽しんだり、考えたりそれを生活に取り入れようとする。 ③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。 | | | | | |
| | 言葉 | ○友達に自分の思いや気持ちを伝えようとしたり、相手にも思いがあることを知ったりする。 | | ○人の話を注意して聞き、自分の思いや考えを相手にわかるように伝えようとする。 | | ① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ② 人と言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。 | | | | | |
| 表現 | ○自分のイメージに沿って必要な材料を選んだり、方法を考えたりしながら実現しようとする。 | | ○様々な体験や感動を様々な方法で伸び伸びと表現し、伝えようとしたり感動を共有したりする。 | | ① いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性を持つ。 ② 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ③ 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 | | | | 情報公開等 ○こども園社会的役割から、責任から、地域の共有財産として、児童福祉の情報発信を行う。 ○人権尊重、虐待防止・確認・保護及び那覇市個人情報保護条例を考慮し、必要な情報を公開する。 ○苦情処理解決対応及び第三者委員会の設置(第三者委員会の選任) ○管理運営規定の掲示 ○各課だより等の掲示 ○HPによる発信 | | |
| 令和5年度の評価 | | | | | | | | | | | |